

令和元年度の方向性

●東大和市立第五中学校 教育目標
東大和市の教育に関する大綱、東大和市教育委員会の教育目標、第二次東大和市学校教育振興基本計画に基づき、将来をたくましく生き抜く生徒の育成を図る。
一、正しい判断ができる（判断力）
一、協力し、実践ができる（協力・実践）
一、自他を尊重する（敬愛心）

●目指す学校像
【魅力ある学校】
生徒が主体的・対話的で深い学びに努め、「できた状態」「分かった状態」「生かせる状態」を実践できる学校
【活力あふれる学校】
「考えて楽しい」「皆で意見を交わして楽しい」心が弾む授業を通して、今日が楽しく明日が待ち遠しい学校
【信頼される学校】
IMO-ZO コミュニティ・スクールを導入し、学びのキャンパスとしての地域と連携・協力を深める学校

●学力向上を図るための方策
①定期考査の廃止【新規】
生徒の習熟の程度をきめ細かく把握して学びを立ち返る指導を徹底するために定期考査を廃止し、単元テストを全教科に導入する。
②授業時数の十分な確保
定期考査の廃止に伴い授業時数を確保し、学びの回復を丁寧に行う。
③「家庭学習記録シート」の継続
単元テストの導入に伴い教科担任からの家庭学習の内容にめあてをもたせ、生徒の主体的な学びを促す。
④7・2・1の取り組み
7時間の睡眠（体調管理）、2時間の家庭学習（学習習慣）、登校1時間前の起床（食習慣）を整え、健全な生活習慣を身に付けさせる。
⑤学校生活の自己評価
各学期（3回/年）末に生徒の規範意識（時間を守ること、身だしなみ、など）や向上心（学習）を「学校生活の自己評価表」を用いて振り返らせ、自己理解を促す。
⑥少人数・習熟度別指導方法の改善
▶基礎的・基本的な「数学的な技能」を未習得な学習集団には「数学的な技能」の定着を図る指導を継続する。
▶習熟度の高い学習集団へは、相互に考えを表現し合う場面を増やし、言語活動を高める。

本校の授業改善に向けた視点

	1年	2年	3年
学習指導の工夫	【学習意欲の喚起】 ○発問の工夫 【基礎・基本の定着】 ○反復学習の設定 【思考、判断、表現力等の育成】 ○考えたことを伝え合う場面の設定	【学習意欲の定着】 ○発問の工夫 【基礎・基本の定着】 ○反復学習の設定 【思考、判断、表現力等の育成】 ○考えたことを伝え合い、再考する場面の設定	【学習意欲の継続】 ○発問の工夫 【基礎・基本の定着】 ○反復学習の設定 【思考、判断、表現力等の育成】 ○考えたことを伝え合い、再考・評価する場面の設定
授業等における評価の工夫	○授業のめあてに基づく評価規準の設定 ○指導計画・評価計画の改善 ○観点別学習状況評価・評定の確認 ○単元テストにおける評価の妥当性の確認	○授業のめあてに基づく評価規準の設定。 ○指導計画・評価計画の改善 ○観点別学習状況評価・評定の確認 ○単元テストにおける評価の妥当性の確認	○授業のめあてに基づく評価規準の設定。 ○指導計画・評価計画の改善 ○観点別学習状況評価・評定の確認 ○単元テストにおける評価の妥当性の確認
教師の授業力向上のための工夫	○第五中学校グループによる小中合同の研究授業 ○管理職の授業観察を通じた生徒の驚き、ひらめき、ときめき、つぶやきを引き出す発問の工夫 ○学び合いの実践 ○授業規律の徹底	○第五中学校グループによる小中合同の研究授業 ○管理職の授業観察を通じた生徒の驚き、ひらめき、ときめき、つぶやきを引き出す発問の工夫 ○学び合いの実践と再考する場面の設定 ○授業規律の徹底	○第五中学校グループによる小中合同の研究授業 ○管理職の授業観察を通じた生徒の驚き、ひらめき、ときめき、つぶやきを引き出す発問の工夫 ○学び合いの実践と再考する場面の設定 ○自己評価及び、今後の自己の取り組みを考える時間の設定 ○授業規律の徹底
授業外における指導の工夫	○家庭学習の啓発 ○家庭学習記録シートの充実 ○書き写し読書の実施 ○表現・話し合い活動の充実 ○放課後の補習の実施 ○各種検定の奨励	○家庭学習の啓発 ○家庭学習記録シートの実施 ○書き写し読書の実施 ○表現・話し合い活動の充実 ○放課後補習の実施 ○学力調査（都）の分析と公表 ○各種検定の奨励	○家庭学習の啓発 ○家庭学習記録シートの実施 ○書き写し読書の実施 ○表現・話し合い活動の充実 ○放課後補習の実施 ○学力調査（国）の分析と公表 ○各種検定の奨励

到達目標

【学力の向上】
①生徒にとって楽しく分かりやすい授業を実現していくために、学校関係者アンケートの「授業の充実（楽しい授業）」の設問で生徒の肯定的な回答を80%以上にする。
②全国学力・学習状況調査において、国語の平均正答率を70%以上とし、数学の平均正答率を60%以上とする。
③全国学力・学習状況調査の意識調査において、「一日当たりどのくらい勉強しますか」の設問と、「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の設問で、両設問ともに東京都の結果を上回る。

学力向上・授業改善のための年間計画

4月	●年間指導計画・評価計画の確認 ●全国学力・学習状況調査 ●家庭学習記録シートの改訂 ●授業参観 ●学習指導員を活用した数学指導 ●少人数・習熟度別授業（数学・英語） ●教育課程説明会	7月	●三者面談（3年） ●学校関係者アンケートの実施（1回目） ●授業改善推進プランの策定	11月	●三者面談（3年） ●校内研究授業（理科） ●総括単元テスト
5月	●放課後の補足的な学習 ※通年 ●前期 IMO-ZO 数学教室の実施（2年・3年） ●土曜公開授業 ●管理職による授業観察	8月	●「全国学力・学習状況調査」結果の分析 ●「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の分析	12月	●三者面談（全学年） ●学校関係者アンケートの実施（2回目）
6月	●総括単元テスト ●漢字検定の実施	9月	●校内研究授業（技術家庭） ●「全国学力・学習状況調査」結果の公表 ●学校関係者アンケートの公表（1回目）	1月	●令和2年度教育課程の編成 ●英語検定・漢字検定の実施 ●学校関係者アンケートの公表（2回目） ●都立高等学校推薦に基づく選抜
7月	●児童・生徒の学力向上を図るための調査（2年）	10月	●管理職による授業観察 ●「児童・生徒の学力向上を図るための調査」の公表 ●授業改善推進プランの公表・実施 ●道徳授業地区公開講座	2月	●校内研究授業（美術） ●都立高等学校学力検査に基づく選抜
		11月	●学校公開日・教育の日東大和 ●英語検定・漢字検定の実施 ●後期 IMO-ZO 数学教室の実施（1年・2年）	3月	●総括単元テスト ●授業改善推進プランの効果検証 ●保護者会での啓発（1・2年） ●FIRST STEP SCHOOL の実施